

～海外交流研修を終えて～

大沼中学校 2年 大澤 瑠莞

この研修が決まった時は、めったに経験できない貴重な体験ができるという嬉しさと同時に、これから立ち向かうべき、様々な「初めて」にとっても大きな不安を抱いていました。一番の不安は「英語」でした。私は英語が得意ではなく、とても話せる気がしなかったのです。

アメリカに着くと、途端に景色が一変して英語ばかりだったので、今までの「泊まるのはもう何回も経験済みだから大丈夫」とか、「ジェスチャーで通じるだろう」などという考えはまったく跡形もなく消え去ってしまい、カーライル高校に着くまでは、まさかこんなに楽しい研修になるとは思いもしませんでした。

カーライル高校ではたくさんのホストファミリーの人達と出会いました。私のホストファミリーの子は、日本語を話せる方だったので、会ってすぐにたくさんの人と話をする事ができ、私と趣味が同じという事もあり、どんどん仲良くなる事ができました。

私のホストファミリーは、母の Rose さんと、娘の Gabrielle さん（先程の人。ギャビンと呼びました）、犬の Tucker というとても仲の良い二人と一匹で、特にギャビンは、年の差も気にせず、大好きなアニメやマンガ、アメリカの生活など色々な事を教えてくれました。少しでも私が楽しめるようにと気遣ってくれて、私はこの人がすごく好きになりました。



ホストファミリーと

家に着いた時にまず驚いたのがお家の中がとても広くて、様々な部屋があったことです。映画を見るためだけの部屋や、バスルームが三つもあったり、地下に専用のカウンターがあったり、日本ではあまりみないものがたくさんあって驚きました。部屋を見た後は、シャワーを借り、「今日はゆっくり寝て明日からいろんな事をしよう」と言われて寝ました。就寝前に時計を見ると、まだ日本では朝の九時から十時頃だったので、急に眠くなってあっという間に寝てしまいました。

次の日から、私はギャビンと学校に通い始めました。私は吹奏楽部だったので今回、アルトサクソで合同演奏に加えさせて戴きました。チューニングの基準がちがったり、強弱のつけ方がハッキリしていてとても勉強になりました。その日は、若草物語の作者、ルイーザさんの劇を見たり、とても楽しかったです。

九月二十五日、コミュニティーコンサートがありました。日本では高校のみなさんと何度か練習をさせてもらい、そのおかげで、本番は大成功でした。ここでは、立って拍手してもらい、初めてだったので感激しました。

コンコードの人達の演奏も、音がきれいで楽器を吹いている後ろからシャボン玉をとばしたりと、面白いアイデアで参考にする事がたくさんあってわくわくして、太鼓も、そろっていて、声も出せたのでとても嬉しかったです。

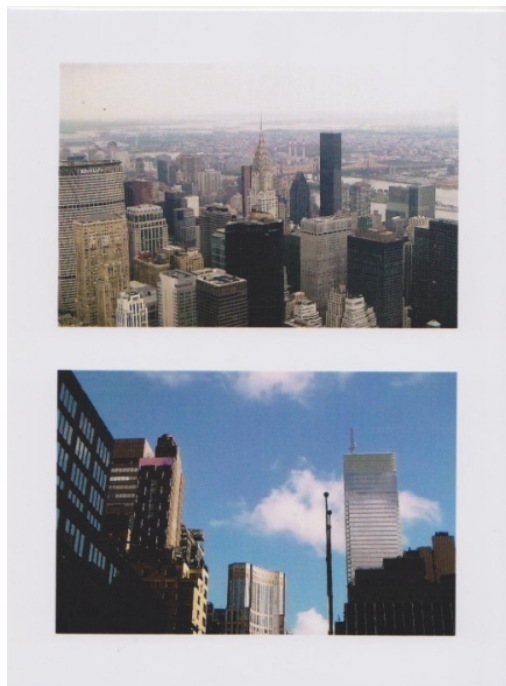
その後行われたバーベキューや交流でも、みんなすごく楽しそうで、私もとても楽しくて、本当にアメリカに来てよかったと思いました。

コンサート二日目ではギャビンも来てくれてこちらも成功して良かったです。

その後、バンドルームで初めてアメリカのアイスを食べ、日本より甘かったので沢山食べてしまいました。そして、オールドノースブリッジなどを見学して帰りました。その後、ローズさんがボストンに連れて行ってきて、そこでロブスターやジェラートを食べる事が出来ました。アメリカのお料理は、ローズさんの作ってくれた料理では、「ラタテューユ」が一番でしたが初めて食べたロブスターも、大きくてとてもおいしかったです。

二十七日、アメリカに来て五日目は、犬のターカーにもなつかれたようで、もうすっかりアメリカを楽しんでいました。この日は、ラジオ（アメリカでは午前中、日本では深夜）の生放送に出させて戴いたり、学校で実際の授業を見たりもしました。お昼はいつもハンバーガーで量も多いですが飽きませんでした。アメリカのピザとハンバーガーは、一生忘れられません。それと同時にアメリカの芸術センスも素晴らしいと思いました。独創的な作品が多く、また色づかきも様々でとても参考になりました。そして夜は、お互いの趣味で話し合ったり、ゲームをしたりとても楽しく、本当に楽しく過ごしました。

二十八、二十九日は、アメリカの様々な有名な所を見学しました。美術館にジャズ、クインシーマーケットでの買い物などたくさん楽しい思い出を作りましたが、その日、私が一番思い出に残っているのは、日本の料理をギャビンと一緒に作った事です。カレーライス、玉子焼き。上手とは言えないのかもしれないけれど、笑いながら、楽しみながら作った食事はとてもおいしかったです。その他、茶道も成功してとても喜んでくれて、日本での練習の成果が出て、私もとても嬉しかったです。そして、最後の日、笑って、でもとても寂しくて、お互いに抱きしめ合い別れました。この数日、みんなでボーリングしたり話したり、演奏したり、毎日がとても新鮮で、あっという間でした。その後行ったニューヨークはテレビで見たブロードウェイや自由の女神など、とても迫力があり、買い物もとても楽しかったですが、私にとっては、このホストファミリーと過ごした時間



ニューヨークの風景

がどんな物よりも、形に残らなくても、掛替えの無い思い出となりました。

今回は入国から、お金、言語の違い、生活習慣の違いなど、とまどいもありましたが、とても素晴らしい経験になったと思います。

私はこの数日間を一生忘れず、大切に、日本でのこれからの生活の新たな一歩に活かし、いつかまたアメリカに、今度は胸を張って行けるように日々、頑張ろうと思います。